



Innovation for the Rotary club ロータリーに新風を 2013年7月のロータリーレポートは1ドル=99円

パストガバナーからの手紙 138回 炭谷 亮一
 名著探訪その3～ローマの歴史～ セオドール・モムゼン著

20世紀とともに始まったノーベル賞だが、文学賞は作家や詩人がもらうものと誰もが思っている。ところがノーベル文学賞史上ただ一人だけ歴史家が受賞している。それはドイツの古代史家、政治家、モムゼン(1817～1903年)である。彼は主著「ローマの歴史」でその荣誉に輝いたのである。

その時の競合相手があの有名な「戦争と平和」の文豪トルストイだった。従って「ローマの歴史」の文学的秀逸度が推し測れると言うものである。

このローマ史の大著を書いたとき、モムゼンは30代にすぎなかった。今なら学者の卵と言われかねない年齢でしかない。だが、みずみずしい壮年期の筆力は鋭い洞察力と広く深い学識を感じさせながら、我々読者を圧倒し続ける。

もともとモムゼンはローマ法学者であり、人物の背景にある国制・社会・文化を描くところに彼独特の本領発揮がある。だから、人物評価にもただ印象的な文芸作品から類推するだけではない。碑文史料も貨幣史料もふんだんに利用される。だが時としてその人物評ははなはだしく極端になることもある。

ローマ共和政期にかぎっても、モムゼンにとっての人類史上唯一の不世出の英雄を創造力あふれる天才カエサル(シーザー)と評したのに比べて、ポンペウスは愚図であり、キケロは日和見主義のうぬぼれ屋と酷評している。

今日まで発掘されたり発見されたりしたローマ時代の碑文は「ラテン碑文集成」として編纂されてきた。その営々とした作業の基礎を築いたのもモムゼンであった。いわば現代におけるローマ史学の地ならしをした大学者なのである。この様な学者としての冷徹な分析力があり

クラブ例会(木)等予定		2013-2014年度
7/4	野城会長 所信表明	
7/11	中村啓二郎(啓和住研(株)代表取締役会長)	
7/18	ガバナー補佐訪問 クラブ協議会	
7/20	(土) 京都北東 RC 創立 25 周年例会	
7/25	ガバナー公式訪問	
8/1	篁俊成(金沢大学医薬保健研究域恒常性制御学)	
8/8	山崎知恵	
8/15	例会休会	

2013～14 理事・役員 委員会

(役員) 会長: 野城勲 エレクト: 宮永満祐美 副会長: 若狭豊 副会長: 魏賢任 幹事: 上杉輝子 副幹事: 井口千夏
 会計: 東海林也令子 SAA: 武藤清秀 直前会長 北山吉明 常任理事: 石丸幹夫 吉田昭生
(理事) クラブ管理運営委員長: 西村邦雄 副: 二木秀樹 親睦: ○二木秀樹 金沂秀 村田祐一 杵屋喜三以満 井口千夏 プログラム: ○魏賢任 木場紀子 谷伊津子 武藤清秀 SAA: ○武藤清秀 大路孝之 川きみよ ニコニコ: ○江守巧 東海林也令子 土田初子 友好・クラブ細則: ○水野陽子 宮永満祐美 岩倉舟伊智
 奉仕プロジェクト委員長: 木場紀子 副: 水野陽子 職業: ○永原源八郎 竹田敬一郎 木村幸生 社会: ○谷伊津子 辰己クミ 大沼俊昭 国際: ○川きみよ 江守道子 井口千夏 東海林也令子 直前委員長: 竹田敬一郎
 喫煙問題: 村田祐一
 会員組織委員長: 金沂秀 副: 辰己クミ 会員増強修練: ○藤間勘菊 石丸幹夫 炭谷亮一 金沂秀 魏賢任
 ロータリー財団委員長: 藤間勘菊 副: 永原源八郎 ロータリー財団・米山寄付: ○木場紀子 藤間勘菊 川きみよ 大路孝之 年次寄付: 野城勲
 広報委員会委員長: 村田祐一 副: 江守道子 広報: ○杵屋喜三以満 相良光貞 ロータリー情報: ○若狭豊 竹田敬一郎 山崎正美 会報とホームページ: ○石丸幹夫 ★太字: 理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州: 金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央: 炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間 京都北東: 炭谷 杵屋 水野 高崎: 石丸 金 村田 藤間 宮永

例会会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241(事務局) 村木早苗

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00

休日(土日祝日) 幹事 上杉輝子

ながら、現世を生きる人間として古代の為政者を見つめる時、彼自身の情念のほとぼしりを抑えられないでいるところが、生身の歴史家としてのモムゼンの人間くさを我々読者に感じさせずにはいられない。1858年以降ベルリン大学で古代史を担当、当時の大学教授としては珍しく左派自由主義の立場にたち、帝国議会議員として何ら恐れることなく熱血宰相ビスマルクを鋭く批判した硬骨漢でもあった。

長谷川 博隆 訳
名古屋大学出版会
「ローマの歴史」
I 巻 II 巻 III 巻 各 6000 円
IV 巻 7000 円

杉山 吉郎 訳 普及版
文芸社
「ローマ史」
上下巻 各 2310 円

長谷川訳は字が小さく分厚いため読破は大変です。 3～4ヶ月時間が必要です。

こちらの方はダイジェスト版で字も大きく読み易い 1ヶ月程度で読破可能。



例会優り

第 702 回例会
ホテル日航 5F
6.20 (木) 19:00
出席率 17/35 48.57 %
5 月修正出席率 74.29%

点 鐘

ロータリーソング
『それでこそロータリー』
四つのテスト



会長 挨拶 いよいよ、私の会長としての最後の例会となりました。この1年間、会長として、一応無事に、その任を全うできましたことは、

皆様の支えが合ったからこそと、心から感謝しお礼を申し上げます。

この1年間は、藤間会長、西村会長の激動の2年間に比べ、金沢8 RC 合同新年例会と創立15周年記念例会はあるものの、大きな行事もなく、比較的穏やかな1年になるとおもっていました。

しかし、この一年間毎回、東北震災についての情報を語ろうと決めた瞬間から、日々の生活にその影響はかなり色濃く出てきたとおもいます。40数回、原発事故のその後、復興の現状など震災について語ることにより、この震災は、いつの間にか、僕にとってかなり身近なものとなりました。しかし、とはいえ、それでも、まだまだ他人事の域を出ていないのです。しかも、来週から、もうこのことについて語らなくても良いとなれば、今まで蓄えてきた、多くの記憶は、おそらく日々の雑事の中に紛れ、うすめられ、消え去っていくとおもいます。それでよいのか、そんな声が聞こえます。

登山家栗城多史(のぶかず)くんの言葉に「負けたら終わるんじゃない、やめたら終わるんだ」という、好きな言葉があります。この一年間の思いを次に繋げるには、「やめない」という一言を自分に課すしかないかあー、と最近思うのであります。そして、この決心をここで宣言することで、他人事であった震災がほんの少しですが自分事に変換できるようにも思っています。と言うことで、「今後も北山は震災復興にかかわります」という宣言を持って、1年間の震災シリーズの締めくくりにしたいと思えます。1年間ありがとうございました。

ゲストのご紹介 (卓話者) 写真家&ジャーナリスト高橋 智裕様 (奥様) 高橋 美奈子様 (米山奨学生) 楊 立山 様 奨学金の支給

楊 立山様: 今年5年生になります。お世話になっています。又よろしく願いいたします。

ビジターのご紹介 金沢香林坊RC 小幡 謙二 様



会長発声: いただきます。 《 食 事 》

幹事報告・委員会報告



川きみよ幹事: この一年色々教えて頂きながらどうやら勤めました。有り難うございます。

お知らせは6/22の会長・幹事慰労会と6/28の二木会員の祝賀会です。本日のテーブルのミンチカツは高橋美奈子様のお世話による震災地のものです。

金沂秀親睦委員長: 6/22の滝亭の慰労会はお泊まりの方でもでも早めに来られてゆっくりして下さい。そうでない方も入浴でもして下さい。女子用一部屋と男子用二部屋確保してあります。



ニコニコBOX

¥15,000- 本年度 ¥683,360- 残高 ¥4,760,914

北山会長: 高橋智裕様、写真拝見いたしました。感動しました。今日はようこそ。宜しくお願いいたします。江守巧・道子会員: 高橋さん、美奈子さん共々ようこそ。北山会長、川幹事、ご苦勞様でした。川幹事: 幹事の川です。一年間とても勉強になりました。本当にありがとうございます。この経験を生かし、また頑張りたいと思えます。

本場会員: 北山会長、川幹事、一年間ありがとうございました。東日本大震災の卓話、会長のお話でとても有意義な一年でした。西村会員: 北山会長、川幹事、一年間本当にご苦勞様でした。藤間会員: 会長、幹事お疲れ様でした。でも二木さんのお祝いの会がありますのでよろしく

お願いいたします。ヤンさん、暑さに気をつけて下さい。

水野会員：北山会長、川幹事はじめ役員の皆様、一年間ご苦労様でした。**吉田会員**：会長はじめ役員の皆様、一年間ありがとうございました。百万石RCの一頁を飾っていただきありがとう。

講話の時間

「 支援をするということ。感謝と憂い 」



写真家&ジャーナリスト 高橋 智裕 様

プロフィール

1973年4月生まれ、福島県いわき市出身。

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、小名浜港(福島県いわき市)を取材中に津波に吞まれるも奇跡的に生還を果たし、ライフワークとして、翌日から福島県いわき市の被災地を中心に撮影と取材を慣行、現在も継続中。

2013年4月から金沢市に拠点を移し、各メディアへの写真提供や、広告や企業PRイメージなどの写真撮影を手掛ける一方、全国各地での講演活動、テレビやラジオ出演・執筆活動を通して、現場にある問題の根底を伝え、以後の展望を提起している。



ごみを捨てていく人、支援と
いって、感謝されたい人、名前
をうりたい人もいて考えさせら
れた。バーベキューやコンサ
ート、又お寺での供養など様
々な事をしましたが、インター
ネットやTVとは大分実際の感
覚がちがいます。立ち小便を
する人いて驚きです。いわき
市での写真ですがその270所
帯の内



140人が死亡しました。しかし、
まだまだ被災地の様子は案外
伝わっていないのです。震災
後、この頃はTVで放送される
事もすくなくなりました。こ
れは今や変化が少なく、新鮮
みがなくニュース価値がない
からとのこと。この様に忘れ
られています。子ども達のケ
アも疎かになっています。遺
族は何時までも悲しいのです。
家族を助けられなかった事を
嘆いています。私は特定の組
織に縛られずに現実を伝えたく
てフリーのカメラマンになり
ました。



自分自身も体験した震災と津波の
スライドで説明しながら、現地
の問題、ボランティア活動の
難しさや心構えなど、貴重な
お話でした。

夫人となられた旧姓宮本美奈子
さんもマイクで発言された。

点 鐘

北山会長・川幹事慰労会 6/22(土) 滝亭にて



北山吉明会長の挨拶：大変皆様にはお世話になりました。会長が終わっても震災活動はつづけたい。



野城勲次期会長および上杉輝子次期幹事より花束贈呈



出席者： 北山吉明、川きみよ、野城 勲、水野陽子、江守道子、西村邦雄、木場紀子、金沂秀、井口千夏、炭谷亮一、石丸幹夫、谷伊津子、上杉輝子、村田祐一、二木秀樹、武藤清秀、吉田昭生

6/22 ニコニコBOX ¥7,000- 本年度 ¥690,360- 残高 ¥4,767,914

炭谷会員 会長・幹事本当にご苦勞様でした。そして次期会長・幹事頑張ってください。応援します。
村田会員 北山会長、川幹事 1年間、大変ありがとうございました。これからも震災原発の情報発信願います。今日は、1年の疲れを取り明日からの1歩にして下さい。
石丸会員 北山会長 川幹事本当 によくやりましたね。北山スタイルでよかったですと思います。次は野城会長、上杉幹事です。よろしくお願いします。

京都北東ロータリークラブ創立25周年記念例会・祝宴のご案内

日 時 平成25年7月20日(土) 場所 グランドプリンスホテル京都
 記念例会 午後3時30分 祝 宴 午後6時 会 費 会員15,000円 家族10,000円
 出席予定者：野城会長、上杉幹事、石丸夫妻、炭谷夫妻、北山夫妻、金、杵屋、宮永、井口会員 計12名

二木秀樹さん おめでとうございます。黄綬褒章受章



2013.6.27 19:00 からホテル日航金沢 4F にて： 永年の着物染色補正の業界発展と後進育成に尽くされ、去る4/29に安倍総理大臣より受賞されましたが、その祝賀会がおこなわれました。人間国宝の二塚さんらをはじめ金沢の伝統芸術の方々も出席し、お祝いしました。先ず 発起人の北山吉明会長が、二木秀樹会員の業績を説明して挨拶されました。金沢百万石クラブ関係は 北山吉明(発起人) 杵屋喜三以満(発起人) 石丸幹夫 井口千夏 岩倉舟伊智 上杉輝子 江守巧 大路孝之 川きみよ 木場紀子 金沂秀東海林也令子 炭谷亮一 谷伊津子 土田初子 西村邦雄 野城勲 藤間勘菊 水野陽子 宮永満祐美 村田祐一 吉田昭生 若狭豊 魏賢任 村木早苗 石丸恭子 北山真美(司会) 村田順子(以上敬称略)の皆さんが出席しました。



二木秀樹さんはお礼の挨拶の中に天皇陛下のお言葉をいわれました。



二木ご夫妻に花束贈呈

会員消息

6/23(日)祭～日本芸能の源流～

石川県立音楽堂邦楽ホールにて 県音楽文化事業団により祭礼行事をイメージして創作された囃子や踊りがおこなわれ、その中で東京山王日枝神社の山王祭りを日本舞踊宗家藤間流の藤間勘菊さんらが素晴らしい踊りで観客を魅了しました。



北国新聞 2013.6.24 朝刊より